

「県民オアシスーしそう森林王国ー」の形成に関する協定書

私たちは、地球の衣ともいえる森林が、清冽な水や清澄な大気を養い、人類の豊かな暮らしを支える源泉であることの認識を深め、一人ひとりが自然界の一員として森林を愛し、守り育てることの大切さを自覚している。

四季おりおりに美しく装い、私たちを魅了してやまない大自然の中で、人々が楽しくふれあい、心身ともにやすらげる森林空間を創出することは、地域住民のみならず県民すべての共通の願いである。

こうした認識のもと、優れた森林を有する宍粟郡は、住民自らの手で建国した「しそう森林王国」をさらに発展させ、こころ豊かな生活を共有するひらかれた緑のふるさとづくりを進めることを誓い、兵庫県は、県民が豊かな自然とふれあい交流する場の創出に向けて、「県民オアシスーしそう森林王国ー」づくりの支援に努めることを約束する。

以上の合意を確認し、各代表者がこの協定書に署名する。

平成4年6月7日

兵庫県知事

園原信氏

山崎町長

安井淳三

しそう森林王国会長

寝飯斎

安富町長

古川 勝

一宮町長

佐伯 仁

波賀町長

本田耕一郎

千種町長

小室朗